

(様式1)

平成29年度倉田コミュニティハウス維持管理計画概要書


指定管理者 社会福祉法人開く会

項 目		内 容
1 施設の維持管理体制		館長1名—管理部（館長兼務）—日常保守担当 コミュニティスタッフ(8名)
2 施設の維持管理に関する考え方	設備の保守管理	1 業者の定期点検により設備の不備を早期に発見し対処していく。 2 業務開始時、午後、夕方及び閉館時に定期点検をおこない簡易な修繕・保守については日常的にも実施していく。 3 机椅子、食器などの利用者への貸し出し備品及び物品の管理簿を作成し、定期的な点検管理を行う。
	施設の清掃	1 公共財産を適正に維持管理するため、清掃業者による毎月の定期清掃に加え、日常的に館内美化清掃に務める。 2 業務開始、午後、夕方のスタッフによる定期清掃の実施。
	施設の点検	1 業者の定期点検により設備の不備を早期に発見し対処していく。 2 業務開始時、午後、夕方及び閉館時にスタッフが館内外を、点検表に基づき定期点検し、状況を把握する。
	植栽の維持管理等その他の維持	1 植栽管理： ①灌水等日常保守はスタッフ・ボランティアで実施 ②ガーデンボランティアを育成し管理を行う。 2 害虫駆除：スタッフにより定期的に点検し、駆除を行う。
3 施設の安全管理に関する考え方		1 危険箇所点検を定期的に行い、表示を掲載 2 日中帯も警備会社への通報システム導入 3 夜間については機械警備の導入 4 夜間帯防犯カメラの映像確認をすることで敷地内侵入を発見し、最寄警察による巡回の強化を依頼する。

※施設の維持管理の内容がわかる各保守管理等の仕様書等を添付してください。

(様式2)

事業計画書様式2-1

平成29年度 倉田コミュニティハウス 指定管理者事業計画書			
団体名	社会福祉法人開く会		
代表者名	理事長 鈴木正明	担当者	
団体所在地	横浜市泉区中田西1-11-2		
電話番号	045-800-1465	FAX番号	045-804-4122

事業計画書様式2-2

1 平成29年度の管理運営に関する基本方針について

● 倉田地区を中心に地域で暮らす人々の【まなぶ】【つどい】【むすぶ】を、地域住民の自主的活動や交流を深める場の提供、館が企画する自主事業の提供を通して支援すること＝横浜市の求める中間支援と捉える。地域の【まなぶ】を刺激することにより多様な世代の【つどい】を実現し、これにより地域の【むすぶ】を強化することで互いの多様性、違いを認めながら、地域への帰属意識を高め、セーフティネットを働かせていく暮らしやすい地域の実現を目指す。

多くの方が【まなぶ・つどい・むすぶ】公の施設として以下を行う。

- ① 公平性、公正性を重視する。
- ② 安心安全な施設とする。
- ③ 調整役を果たす。

上記、5年間の指定管理者期間の方針をふまえ、具体的に事業を計画する。

● 10月に恒例となり、活動の発表の場としての位置が確立している「文化祭」を開催する。9月に実行委員会を開催し、役割分担などを決定する。

- ① 「作品展」「音楽発表会」
- ② 「活動報告展示」「自主事業子育て作品展」
- ③ 「蕎麦処 コミハ庵」
- ④ 明治学院大学応援団、豊田中学吹奏楽部の特別パフォーマンス
- ⑤ 自主事業「コーヒー研究会」メンバーの喫茶店、「倉田市」の豚汁屋台
- ⑥ 地域の施設の出張パン店

倉田chを活動の拠点としている地域の様々な人々の活動発表の場として、また、地域をむすぶ場として、開催する。

● 音楽室のあるコミュニティハウスとして「音楽のとつか」を発信していきたい。

開館以来続いている「気軽にコンサート」も30回を超え、今年度も明治学院大学横浜校教会をお借りし、地域を繋ぐコンサートを企画している。

1 コミュニティハウス事業の広報と利用の促進

・ 広報誌の定期発行と配布を実施することで、地域の人たちにコミュニティハウスで行っていることや利用方法を伝えていく。3面には「私と倉田コミュニティハウス」や「サークル紹介」の欄を設け、利用者の声を発信していきたい。(継続)

・ 館を活動の拠点と位置付け、登録されているサークルの活動閲覧簿を作成し、新しい仲間作りのツールとする。また、エレベーターホールの壁を開放し、ミニ作品展を月替わりで常時開設できるようにする。

・ 各部屋の空いている時間帯を親子のためのフリースペースとして開放する。

2 法人ホームページ等への掲載

法人ホームページ等に情報を掲載、定期更新することで、最新の情報を様々な方法で

発信していく。倉田コミュニティハウス通信を定期更新し、今、コミュニティハウスで行われていることをリアルタイムで伝えていく。(継続)

3 登録サークルの支援

現在、倉田コミュニティハウスで活動しているサークルの支援を行う。

- ・希望するサークルの活動を通信に掲載する。活動内容、構成員の募集など。(継続)
- ・発表の場を提供する。活動によって出来た作品の展示・掲示のスペースを作る。
音楽室利用者の発表と仲間作りの場を提供する。
- ・サークル活動内容が判るファイルを作成し、サークルへの加入を促進する。

4 現在までに登場していない利用者の開拓

5 中学生・高校生の為の自習室開設

6 退職教員、大学生、地域のものづくりを得意とする高齢者、小中学生などが交流できる場を作る。

7 地域企業との連携事業

8 地域団体との共催事業

上倉田地区社会福祉協議会、青少年指導員、戸塚消防団第7分団、老人会などとの共催事業を作る。

9 社会福祉法人が運営するコミュニティハウスの特色をだす事業を計画する。

●倉田地域の町づくりに貢献する

任意団体の時代から 30 年にわたる地域に根ざした事業で培われた社会福祉法人開く会の持つ知識技術を、地域生活にまつわる課題、地域の安全を図り、環境を守り整え、健康を維持するという課題の取り組みに役立てる。(継続)

●福祉課題に対してのバックアップ

コミュニティハウスが「地域の方の福祉課題」に接した場合には当法人にある福祉の様々な専門知識をもって連携し、バックアップを得ていく。(継続)

事業計画書様式2-3

<p>2 平成29年度の施設の運營業務について</p> <p>(ア) 利用者へのサービスの提供</p> <p>(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方</p> <p>(ウ) 利用者会議の開催の考え方</p>
<p>(ア) 利用者へのサービスの提供</p> <p>住民主体 地域住民が自主的に主体的に活動する場という主旨に基づき、28年度に出てきた課題を検討し、より使いやすいシステム、環境を創造する。また場の提供と共に情報の提供につとめる。</p> <p>環境整備 利用者がくつろいで、いつでも気持ち良く利用できるよう清潔な環境を維持する。貸し出し物品についてもガタツキなどをチェックし、安全に使っていただけるよう配慮する。</p> <p>地域の安心安全 サービス提供を通じて地域の安心安全が維持向上するよう工夫する。</p> <p>・こども110番の場所</p> <p>(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方</p> <ul style="list-style-type: none">・ 職員の細やかな情報収集、館内ご意見箱の設置、利用者の声には丁寧に耳を傾ける職員の態度の醸成、他機関職員との情報交換、などの方法を用いてニーズの把握につとめ、それらを分析し優先順位をつけ運営に反映する。・ 登録団体へのアンケート調査を行う。(団体満足度調査、ニーズの把握)・ 事業ごとにアンケートを実施し、利用者のニーズを掴み、事業に反映させる。(利用者個人満足度調査、ニーズの把握)・ 活動の発表、展示、掲示の場を設ける。・ 上倉田連合自治会、下倉田連合自治会広報部会へ参加し、各種団体と密に連携し地域状況を把握する。・ 上倉田・下倉田両地域ケアプラザの地域活動交流事業を通じて、既に蓄積している地域ニーズを運営に生かす。・ 沢山の地域住民が利用する両ケアプラザ、戸塚スポーツセンターなどから情報提供を受け、具体化し、事業に結びつける。 <p>(ウ) 利用者会議の開催の考え方</p> <ul style="list-style-type: none">・ コミュニティハウス委員会を定期開催し、地域の声を収集し、運営に生かす。2回/年、5・11月に開催予定。・ 文化祭実行委員=利用者代表と位置づけ、利用者委員会を開催する。9月開催・ 利用者の声については、会議という形式だけではなく、館内ご意見箱の設置と事業実施時およびサークル活動時に利用者アンケートを実施し情報の収集に努める。

(/) ※A4版1ページ以内でおまとめください。

事業計画書様式 2 - 4

3 平成 29 年度の施設の経営について

(ア) 利用者数の目標

(イ) 自主事業以外の事業等の計画

(ウ) 管理経費の節減計画

(ア) 利用者数の目標

年間 30,000 人、平均 2,500 人/月、稼働率 68%

(イ) 自主事業以外の事業等の計画

- ・活動の発表、展示、掲示の場を設ける。
- ・広報誌の発行(毎月)広報誌内に利用サークルの頁や個人の発信が出来る項を設け、活動内容を発表し、新たな仲間作りの支援を行う。
- ・法人ホームページの通信掲載、ブログの定期更新
- ・防災訓練の実施、地域消防団との連携
- ・災害時利用施設としてスタッフ研修に努める。
AED 取扱い研修、法人全体研修
- ・中高生の勉強の場として、「自習室」を開設する。(不定期)
- ・社会福祉協議会、スポーツ推進委員、青少年指導員、老人会などと連携し、地域の活性化のための事業を計画する。
- ・気軽に立ち寄ることができる施設づくりを行う。

(ウ) 管理経費の節減計画

- ・清掃業者による毎月の定期清掃や、設備点検等メンテナンスを定期的に行っていく他、日常的に館内美化清掃に努める。
- ・使用していない時間の電気・エアコンの消灯による節電の実施
- ・エアコン温度の設定(夏:28度 冬:20度)
- ・消耗品、備え付け品を定期的に管理表に基づきチェック、棚卸し、補充を行う。
- ・地域のご家庭で使っていないものを集め、子育て支援の工作材料とする。
(使いかけの折り紙、文房具、ビーズ、クリスマスオーナメントなど)

事業計画書様式 2 - 5

4 平成 29 年度の事業の実施について

(ア) 自主事業の基本的な考え方

(イ) 自主事業別計画 (様式 3, 4 に記載してください。)

(ア) 地域の安心・安全、福祉の向上を目指し、地域にいる様々な人たちが集え、出会い顔見知りになることのできるような自主事業を実施していく。

29 年度については、下記 5 つの柱に重点を置き自主事業を企画実施していく。

- ・ ニーズのある子育て支援
- ・ 福祉、健康の促進につながる事業
- ・ アンケートなどで要望のあった事業
- ・ 28 年度に登場していない方を対象とした事業
- ・ 事業間を繋ぎ単発の事業ではない交流事業

(/) ※A 4 版 1 ページ以内でおまとめください。

平成29年度自主事業計画書

施設名 倉田コミュニティハウス

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費
3時になったらラジオ体操	①一般住民	50000	3000	47000	5000	45000
	②自由参加					
	③100円					
寿会 体操・囲碁・将棋	①高齢者	24000	0	24000	4000	20000
	②自由参加					
	③100円					
0歳児クラブ &フリースペース	①0歳児と親	29000	5000	24000	15000	14000
	②12組					
	③2000円					
とことこあおむし &フリースペース	①1歳児と保護者	47000	7000	40000	22000	25000
	②20人					
	③2000円					
らんらんきッズ &フリースペース	①2歳児と保護者	110000	2000	108000	100000	10000
	②20人					
	③600円/1回					
親子のための フリースペース	①未就園児と保護者	0	0	0	0	0
	②30人					
	③無料					
歌声友の会	①一般住民・子供	82000	2000	80000	60000	22000
	②32人					
	③2500円					
気軽にコンサート	①一般住民	30000	30000	0	25000	5000
	②30~50名					
	③0~1000円					
キッズフェスティバル	①一般住民・子供	45000	10000	35000	20000	25000
	②100名					
	③300円~500円					
倉田クラフトクラブ 1. エコクラフト 2. パンフラワー	①成人住民	23000	3000	20000	10000	13000
	②20名					
	③500円					
11周年記念まつり コミュニティハウス文化祭	①一般住民	75000	30000	45000	45000	30000
	②自由参加					
	③300円					
レッツ・パソコン	①一般住民	17000	5000	12000	12000	5000
	②12名					
	③1000円					
世界の手料理	①一般住民	19000	3000	16000	3000	16000
	②16人					
	③1,000円					

工作大会	①一般住民・子供	11000	5000	6000	5000	6000	(様式3)
	②20人						
	③300円						
地域の古老に習う ミニ門松作り	①一般住民・子供	10000	5000	5000	4000	6000	
	②50名						
	③100円						
パイプオルガンを習おう	①一般住民	15000	5000	10000	5000	10000	
	②10人						
	③500円						
クリスマス飾り	①一般住民	21000	5000	16000	5000	16000	
	②16人						
	③1000円						
倉田市	①一般住民	22000	10000	12000	13000	9000	
	②12人						
	③1000円						
		630000	130,000	500000	353000	277000	

事業ごとに別紙に記載してください。

倉田コミュニティハウス自主事業別計画書 29年度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3時になったらラジオ体操プラスお茶！	<p>目的：体操を通して心身の活性化、元気につなげる。また、その後、お茶を一緒にすることで地域の交流を図る。対象：一般住民</p> <p>内容：毎週土曜日午後3：00～交流ラウンジの利用者とスタッフがラジオ体操をする。はまちゃん体操広め隊の協力も仰ぎ行う。その後、ラウンジ喫茶コーナーを使用し、紅茶・コーヒーを提供し、水分補給する。交流ラウンジの利用者同士の親睦も図る。</p> <p>果たせる課題：安心、健康、交流</p>	毎週土曜日午後3時 51回／年
事業名	目的・内容	実施時期・回数
寿会 体操・囲碁・ 将棋クラブ	<p>目的：地域の高齢者団体との共催事業。地域の場として、外出の場として、友人との団らん場として利用していただく。</p> <p>対象：高齢者</p> <p>内容：ラジオ体操実施後、囲碁将棋を楽しむ。ラウンジ喫茶コーナーを使用し、紅茶・コーヒーを提供し、水分補給する。交流ラウンジの利用者同士の親睦も図る。</p> <p>果たせる課題：安心、健康、交流</p>	毎週金曜日午前10時 51回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
0歳児クラブ& フリースペース	<p>目的：初めてのお子さんを持った母親・父親の外出先を作り、仲間作りに繋げる。また、保育士・保健師・歯科衛生士・助産師という専門家へつなげる。</p> <p>対象：生後6ヶ月未満児とその親</p> <p>内容：多目的ホールにマットを敷き遊べるスペースを作る。保育士による新生児体操、手遊び、季節の遊び、助産師によるベビーマッサージを入れる。</p> <p>果たせる課題：安心、健康、福祉、交流、教育</p>	1～2回／月 20回／年
事業名	目的・内容	実施時期・回数
とことこ あおむし& フリースペース	<p>目的：幼児(1歳児)とその母親、父親の外出先を作り仲間作りにつなげる。また親たちの息抜きの場としても活用してもらおう。</p> <p>対象：1歳児その保護者</p> <p>内容：多目的ホールにマットを敷き遊べるスペースを作る。絵本の読み聞かせ・人形劇・親子で音楽会など毎月のテーマに沿い、ボランティアグループにより、季節の遊びを入れる。元保育士も参加し、子育て相談にもものる。</p> <p>果たせる課題：安心、健康、福祉、交流、教育</p>	1回／月 11回／年
事業名	目的・内容	実施時期・回数
らんらんきっず &フリースペース	<p>目的：幼児(2歳児)とその母親、父親の外出先を作り仲間作りにつなげる。また親たちの息抜きの場としても活用してもらおう。</p> <p>対象：2歳児その保護者</p> <p>内容：多目的ホールにマットを敷き遊べるスペースを作る。絵本の読み聞かせ・人形劇・親子で音楽会など毎月のテーマに沿い、プロの講師による、季節の遊びやリトミック指導も入れる。</p> <p>果たせる課題：安心、健康、福祉、交流、教育</p>	2回／月 20回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のための フリースペース	目的：幼児とその母親、父親の外出先を作り仲間作りにつなげる。また親たちの息抜きの場としても活用してもらおう。 対象：未就園児とその保護者 内容：多目的ホールや憩いの中に安全に遊べる場を設定する。自由に遊び、昼食やお茶を楽しめる設定をする。告知は翌月分予定表を配布、ブログ掲載をする。 果たせる課題：安心、健康、福祉、交流	1回／週程度
	目的・内容	実施時期・回数
歌声友の会	目的：5年目となる人気のある事業。大きな声で歌い、その後にサロンを作ることで地域の連携を深める。 対象：一般住民 内容：地域のプロを講師とし、発声することで心肺の運動をし、仲間作りきっかけ作りとする。年間の目標を立て、地域ボランティアや外部でのコンサートにも参加する。 果たせる課題：安心、安全、交流、教育	1回／月、12回 4月～
事業名	目的・内容	実施時期・回数
気軽にコンサート	目的：地域の音楽活動の活性化。定期的な生演奏コンサートを通し、地域住民の交流を図る。また館の存在の紹介をする。 対象：住民一般 内容：5月フルートオーケストラ・9月ソプラノ＆ピアノ・10月コミハ文化祭（音楽発表会）・1月ハワイアン 出演者：地域のプロの方、音楽室利用の方 果たせる課題：教育、交流、環境	4回／年 5月・9月・10月・1月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズ フェスティバル	目的：地域の子供たちにコミュニティハウスを知ってもらい、異年齢の交流を図る。また、困ったときに駆け込める場所のひとつとしても利用してもらえるようにする。地域消防団とも連携し、地域防災の訓練場ともする。 対象：幼児～小学生（中学生） 内容：一日（10～15時）の間、館全体に子供向けの企画をし、子供たちが気軽に利用できるようにする。（シャボン玉ショー、おもちゃ病院、工作教室など） 果たせる課題：安心、安全、福祉、交流	夏休み、春休み中 各1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
倉田クラフト クラブ	目的：地域にいるプロを講師として迎え、クラフト等を学ぶ。 対象：成人 内容：1. エコクラフト 2. パンフラワー 果たせる課題：教育、交流、環境	1回／年 9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
11周年記念祭り コミュニティハ ウス文化祭	目的：地域の方たちにコミュニティハウスを知ってもら う。また普段館を使っている団体、サークルの活動の紹 介をし地域の活動の活性化につなげる。実行委員会を作り 、昨年より一歩進んだ文化祭とする。 対象：乳幼児～一般地域住民 内容：サークル活動の展示・掲示・音楽室発表会 果たせる課題：安心、安全、福祉、交流	1回／年 10月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
レッツ・ パソコン	目的：パソコン操作に慣れていない方々の交流の場を作 る。明治学院大学との共催事業 対象：一般地域住民 内容：個性ある年賀状作成を学生に倣う。 果たせる課題：安心、安全、交流、教育	3回コース 10月～
事業名	目的・内容	実施時期・回数
世界の手料理	目的：これから地域に増加する団塊の世代、またそれ以降の 方たちに講習することで新たな活動の意欲を育てる。生活に 広がりを生み出す。近年増加している外国の方を講師とし て、各国の料理を一緒に作り、味わう。 対象：一般地域住民 内容：地域のプロの方を講師とし、習う。 果たせる課題：安心、安全、教育、交流	3回コース 10月～
事業名	目的・内容	実施時期・回数
工作大会	目的：地域の青少年指導委員との共催事業。地域の方を 講師として、小学生と工作を楽しむ。 対象：小学生 果たせる課題：安心、安全、教育、交流	1回／年 10月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の古老に習 うミニ門松作り	目的：地域の青少年指導員との共催事業。日本の伝統 文化の継承や地域の交流を目的とする。 対象：一般地域住民 内容：地域のプロの方を講師とし、正月飾りを手作りす る。 果たせる課題：安心、安全、環境、交流	1回／年 12月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
パイプオルガン を習おう	目的：地域にある明治学院大学チャペルにて地域交流を 目的とする。 対象：一般地域住民 内容：プロの奏者を講師とし、パイプオルガンの構造を 習い、弾いてみる体験講座 果たせる課題：教育、交流	1回／年 11月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス飾り	目的：季節感のある日常をめざす事業。 対象：一般地域住民 内容：地域に住まう方を講師とし、家庭にある身の回り にあるものや100均で購入する材料にてクリスマスを楽し む。 果たせる課題：安心、安全、環境、交流	1回／年 12月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
倉田市	目的：家庭菜園を趣味とする方の交流の場 対象：一般地域住民 内容：作物を持ち寄り、料理し、交流する。 果たせる課題：安心、安全、環境、交流	10回／年 11月～

平成 29 年度第三者委託内容一覧

施設名 倉田コミュニティハウス

NO	委託期間	委託内容	金額	業者名
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	清掃管理業務	489,000	ALSOK ビルサービス (株)
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	機械警備	270,000	総合警備保障 (株)
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	設備管理業務 (設備巡視点検)	89,000	ALSOK ビルサービス (株)
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	空調設備点検	280,000	ダイキン工業 (株)
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	自動ドア点検	72,000	(株) 神奈川ナブコ
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	昇降機保守	320,000	ダイコー (株)
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	植栽管理	12,000	
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	廃棄物処理	30,000	神奈川美研工業 (株)
	平成 29 年 4 月 平成 30 年 3 月	消防設備点検	32,000	相日防災 (株)

平成29年度 「横浜市倉田コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,730,000		13,730,000		13,730,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	0		0		0	
自主事業収入	500,000		500,000		500,000	
雑入	75,000	0	75,000	0	75,000	
印刷代	30,000		30,000		30,000	
自動販売機手数料	15,000		15,000		15,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他()	30,000		30,000		30,000	
収入合計	14,305,000	0	14,305,000	0	14,305,000	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,544,000	0	8,544,000	0	8,544,000	
給与・賃金	7,834,000		7,834,000		7,834,000	
社会保険料	400,000		400,000		400,000	
通勤手当	270,000		270,000		270,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	730,000	0	730,000	0	730,000	
旅費	25,000		25,000		25,000	
消耗品費	155,000		155,000		155,000	
会議賄い費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	200,000		200,000		200,000	
通信費	180,000		180,000		180,000	
使用料及び賃借料	50,000	0	50,000	0	50,000	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	50,000		50,000		50,000	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000		25,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	70,000		70,000		70,000	AEDリース料
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
事業費	630,000	0	630,000	0	630,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	0		0		0	
自主事業費	630,000		630,000		630,000	
管理費	2,985,000	0	2,985,000	0	2,985,000	
光熱水費	1,360,000	0	1,360,000	0	1,360,000	
電気料金	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	160,000		160,000		160,000	
清掃費	489,000		489,000		489,000	
修繕費	50,000		50,000		50,000	
機械警備費	246,000		246,000		246,000	
設備保全費	840,000	0	840,000	0	840,000	
空調衛生設備保守	280,000		280,000		280,000	
消防設備保守	32,000		32,000		32,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	528,000		528,000		528,000	EV、自動ドア、設備巡視、植栽管理、廃棄物処理
共益費	0		0		0	
公租公課	700,000	0	700,000	0	700,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	700,000		700,000		700,000	
印紙税	0		0		0	
その他()	0		0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	716,000	0	716,000	0	716,000	
本部分	530,000		530,000		530,000	
当該施設分	186,000		186,000		186,000	新聞代、ピアノ調律他
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	14,305,000	0	14,305,000	0	14,305,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入	500,000			0		
自主事業費支出	630,000			0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入	37,200			0		
管理許可・目的外使用許可支出	37,200			0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定・自己評価合体版

平成 29 年度倉田コミュニティハウス自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	事業計画書			
	(2)イ 地域特性や地域ニーズを把握する。			
	①連合自治会定例会へ参加する。 10回/年			
	②地域の他施設と連携し、地域ニーズを把握し、共催にて事業を行う。 ・上倉田地域ケアプラザとの連携事業			
	③地域の少子高齢化の二極化を踏まえ、地域他施設や専門家との連携事業を行う。 ・高齢者向け 3時になったらラジオ体操 51回/年開催 寿会(地域老人会)の支援 51回/年開催 歌声友の会 12回/年開催			
	・子育て向け 0、1、2歳児年齢別子育て事業 30回/年開催 キッズフェスティバル 1回開催 親子で遊ぶフリースペースの定期開催 4回以上/月開催			
	ウ 公の施設としての管理			
	①「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ための公の施設として公平性、公正性を重視する。			
	・平等に利用できるルールの徹底 抽選会などを記載した案内を準備し、配布する。 常時 ・利用者会議を開催し利用者の意見を聞く。開催 2回/年 ・ご意見箱の設置、伝言ダイヤルの掲示を行う。常時			
	②安心安全な施設作りを行う。			

<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフによる建物設備の定期的な安全確認 4回/日 			
<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による設備点検 1回/月 			
<ul style="list-style-type: none"> ・こども110番揭示 常時 			
<ul style="list-style-type: none"> ・備品、物品の定期的な安全チェック 2回/年 			
<p>③コーディネートする。</p> <p>利用者、サークル、地域に住まう方々からの相談を受け、支援し、活動が活発に行われるようにコーディネートする。</p>			
<p>(4)ウ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <p>利用者のニーズを把握し、苦情や要望を運営へ反映させるため下記を行う。結果についてはラウンジボードにて公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル対象アンケート（登録利用サークル・団体への満足度及びご要望調査） 1回/年 			
<ul style="list-style-type: none"> ・各事業参加者へのアンケート（参加者個人への満足度及びご要望調査） 10回/年 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置 常時 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ダイヤルの表示 常時 			
<ul style="list-style-type: none"> ・受付スタッフへの口頭でのご意見対応 常時 			
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティハウス委員会の定期開催 2回/年 			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議の定期開催 2回/年 			
<p>エ利用者サービス向上の取組</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・「倉田コミュニティハウス通信」を毎月発行する。1回/月 ホームページでも閲覧可能にし、利用者のページなども設け、館・利用者の双方向でつながるようにする。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・カラーコピー機の設置 常時 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ作品展示の開催（月替わり） 常時 			
<ul style="list-style-type: none"> ・子供文庫の設置 常時 			
<ul style="list-style-type: none"> ・行政との連携（狂犬病予防接種会場） 1回/月 4月 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・活動紹介やサークル員募集の案内をいつでも見られるような情報コーナーを作る。 常時 			
	事業計画書 (3) ア 管理運営に必要な組織、人員体制			
	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター職の設置 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・抽選会、自主事業など必要な時には人員を増やして対応する。 常時 			
	ウ 緊急時の体制と対応計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の業務マニュアルを作成し、スタッフ研修を行う。 1回／年 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応の訓練を消防署に依頼する。(AEDを含め) 1回／年 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・館長不在時には法人が全面的にバックアップする。常時 			
	(4) ア 設置理念を実現する運営内容 「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ための施設として、実現化させるために下記3事業を行う。			
業務運営	①交流事業 館で活動しているサークル間、地域住民と館を繋ぐ事業 文化祭、コンサート、ミニギャラリー開催 10回／年			
	②貸館事業 館を利用し、地域で様々な活動をしているサークルを支援する。常時			
	③自主事業 20回／年開催 6,500名参加			
	イ 利用促進策 利用しやすい施設、地域の方々が「ホームグラウンド」と感じられる施設を目指す。 目標 利用者数 30,000名／年、稼働率 68%			

①広報誌を発行する。 館から的一方通行ではなく、利用者のページを設け、館での活動を広報する。 12回／年 ホームページでも見られるようにする。 常時			
②交流ラウンジに子供文庫を設置する。常時			
③中高生のため、空き室を自習室として開放する。常時			
④勤労者世代も使用が可能になるよう、会場利用申し込みを電話でも常時受け付ける。			
⑤ポットやコーヒーマーカーなどの貸し出しも行い、キッチンを借りないサークルにも対応できるようにする。 また、乳幼児の白湯を常時準備する。			
⑥身体状況や事業の内容によって、内外履きの履き替え緩和を行う。 常時			
⑦利用される方が気軽に相談できるようコンシェルジュ機能をもつスタッフを植え付けに配備する。			
オ本市重要施策に対する取組 ・横浜市定める情報公開条例に則り、「倉田コミュニティハウス情報公開条例」を定め、運用する。常時 ・人権尊重、個人情報保護、毎月のスタッフ研修や法人全体研修にて学び、日々の業務に活かす。1回／年 ・横浜市中期4か年計画 地域で暮らす様々な人々と教育機関、福祉施設、企業、地域民間団体とをコーディネートすることを中間支援と捉え、自主事業、交流事業を通して実現する。常時			
ク アイデア提案を募った項目（該当施設のみ）			
(5) 自主事業計画			

・自主事業を通じて地域の課題と地域住民をコーディネートする。			
・それぞれの世代が参加し、楽しめる事業を計画する。			
・地域他施設（明治学院大学、上下倉田地域ケアプラザ）、企業など（スターバックスコーヒー）、1施設ではできない事業を連携し、共催する。			
・実行した際に地域に対し「果たせる課題」を設定し、実現させる。			
・戸塚区、倉田町の特徴をおさえ、参加者として講師として地域の方が登場する事業を企画する。			
・自主事業参加⇒取得した知識で地域貢献するという循環型を生み出す。			
・法人専門家の協力を得てコミュニティハウスだけでは実現できない事業を実行する。			
上記を踏まえ下記を計画実行する。			
3時になったらラジオ体操	51回開催	510名参加予定	
寿会 体操囲碁将棋	51回開催	340名参加予定	
0歳児クラブ	20回開催	300名参加予定	
とことこあおむし	10回開催	300名参加予定	
らんらんきっず	20回開催	600名参加予定	
親子のためのフリースペース	40回開催	80名参加予定	
歌声友の会	12回開催	384名参加予定	
気軽にコンサート	3回開催	150名参加予定	
キッズフェスティバル	1回開催	100名参加予定	
11周年 文化祭	1回開催	600名参加予定	
レッツ パソコン	3回開催	30名参加予定	
工作大会	1回開催	20名参加予定	
ミニ門松作り	1回開催	60名参加予定	
コミハクラフトクラブ	1回開催	10名参加予定	

	<p>地区社会福祉協議会との共催による高齢者対象事業 40回開催 1000名参加予定</p>		
	<p>(6) 施設の維持管理計画 公的財産を適正に維持管理する。公費を財源とする運営であることを考え、コスト意識を持つ。</p>		
	<p>①日常スタッフが行う維持管理 常時</p>		
	<p>②専門家に依頼する委託維持管理 12回/年</p>		
	<p>③地域のボランティアの方にご協力いただく維持管理 2回/年</p>		
	<p>④備品及び物品管理 2回/年、常時</p>		
	<p>⑤廃棄物処理 ・発生抑制に努め、可能な限り資源化し、行政の取組を推進する。 常時 ・資源ゴミは自治会町内会の回収に協力する。 1回/週</p>		
	<p>(3) イ 個人情報保護等の体制と研修計画 ・法人全体のリスクマネジメント規程に則り、館独自の具体的なマニュアルを作成し、周知徹底を図る。 常時 ・法人全体の研修を行う。法人内他事業所の職員が一堂に集まり、1事業所内ではなく、他職種の話聞く機会を持つ。 1回/年</p>		
職員育成	<p>・休館日を研修日とし、個人情報保護、人権研修を行う。 2回/年</p>		
	<p>(7) ア 収入計画の考え方 利用料金を徴収しないとの行政方針を受け、収入は下記に限定される。</p>		
財務	<p>①指定管理料：主収入であり、公費を財源とする。コスト意識、予算管理を徹底する。 常時</p>		
	<p>②事業収入：受益者負担とし、高額にならないよう設定する。</p>		
	<p>③雑収入：利用者サービスの一環とし、利益を上げることを目的とはしない。</p>		
	<p>イ 増収策 非該当</p>		

	ウ 支出計画			
	(4) カ ニーズ対応費の使途 (地区センターのみ) 非該当			
その他 (上記4 つの視点 以外の項 目があれば 追記)				
利用者等 の意見				

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載